

# 小学校国語科教育 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	国語科 フレームリーディングでつくる「深い学び」	
日時	平成29年 8月31日(木)	
会場	北広島市立双葉小学校	
講師	青木 伸生 氏 (筑波大学附属小学校 教諭)	
参加者	67名	
研修会 の 様子		<p>授業公開の冒頭、クマのニュースを提示し、身近な話題を扱うことで、子どもたちの興味を引きつけた。教科書の教材文は「白神山地」についてのものであるが、単元のねらいが達成できるのであれば、言語活動のテーマを身近な話題に設定することも有効であるという提案がなされた。</p>
		<p>クマの話題で意見文を書くというゴールを示して、「白神山地」の教材文を読み進める。子どもたちは教材文の筆者の立場に着目しながら、意見の後ろ盾となる資料の大切さに気付き、意見文の構造を読み取っていった。</p>
		<p>第1部の後半は、公開授業についての質疑応答を行った。講師の青木先生より単元のねらいと学習活動の意図について説明があり、参加者から質問や感想を出していただいた。構造的な板書の仕方や教科書教材の扱い方について、質問や納得の意見が出され、全員でフレームリーディングの実際を学ぶことができた。</p>
		<p>研修会第2部は、青木先生による講演会を行った。公開授業とは異なる教材(物語＝「モチモチの木」、説明文＝「言葉と事実」)を用いてフレームリーディングによる読み方と、構造的な板書の実際について参加者とのやりとりを交えて解説していただいた。</p>
		<p>第2部終盤には、新しい学習指導要領について、解説していただいた。関連して、小学校から中学校への進級を見据え、俯瞰的に読む力を身に付けることの大切さを再確認した。また、学習指導要領に記述のある「言葉による見方・考え方」をどうとらえ、具体的にイメージしながら指導していくか、について、青木先生のお考えを説明していただいた。</p>